

2008 年度

科目名 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	対象学科・学年 教育教福2回生	担当者 神部 智司 船本 淑恵
授業テーマ 社会福祉援助技術現場実習に向けての基礎学習と準備		
授業の概要と目標 本科目は社会福祉援助技術現場実習に向けて、現場実習とは何かを事前に学び、実習の準備をすることを目的にしています。現場実習は、理論と実践をつなぎ、人間理解を深める総合学習です。そのため、他の専門科目と関連させて実習経験を理解することが必要となります。その心構えをもって実習指導を受講してください。 社会福祉援助技術現場実習の意義を理解し、実習に向けての基礎学習と準備を行う。施設・機関・団体などの基本的な知識や具体的な実習内容など、現場実習に関して総合的に学習する。現場経験の豊富な教員の講義や施設見学、実習経験者の報告を聴講し、現場実習のイメージを醸成し、各自の実習に向けての課題を深める機会とする。		
評価方法 提出物、出席状況、学習態度等を参考に総合的に評価する。		
テキスト 特になし。	著者	出版社
参考書 『社会福祉小六法 2008』（出版社は指定しない）。 『国民の福祉の動向 2007 年』	著者	出版社 厚生統計協会
授業スケジュール・内容 1. オリエンテーション 実習指導日程の確認、実習施設・機関・団体の紹介、実習先決定までのスケジュールや実習決定における注意事項などを伝達する。 2. 社会福祉援助技術現場実習の意義と位置づけ 社会福祉援助技術現場実習までの流れを理解し、実習に向けての心構えや学習事項を確認する。 3. 社会福祉施設の理解 実習先となる社会福祉施設についての基本的な知識と現状を理解する。 4. 機関・団体などの理解 実習先となる機関・団体などに関する基本的な知識と現状を理解する。 5. 社会福祉施設における実習 社会福祉施設における実習内容について学び、実習課題検討の材料とする。 6. 相談機関・団体などにおける実習 相談機関や団体などにおける実習内容について学び、実習課題検討の材料とする。 7. 社会福祉施設見学 社会福祉施設を訪問し、社会福祉現場の理解を深める。実習において求められる実習態度などを学ぶ。 8. 実習報告の聴講 実習経験者の報告を聴講し、実習に向けての心構えや準備などを学ぶ。		